

植物部 更新2021年9月

「植物部」の名称で活動しているのは府下でも珍しいです。中身は園芸部+華道部+生物部です。「持続可能な活動」を心がけ、仲良く活動しています。

現在の部員：3年生3人が引退し、今は2年生4人です。小さいクラブですが、学校の緑の環境作りなどの点で存在感抜群です。

顧問：植物や野鳥、海岸生物の解説が出来る専門の生物の先生が指導してくれています。

活動日：週2～3日。兼部も塾との両立もできます。

クラブ活動の3本柱：① 園芸 ② 生け花

③ 植物や動物を校外で観察するフィールドワーク

具体的な活動内容（ここ2～3年の実績）

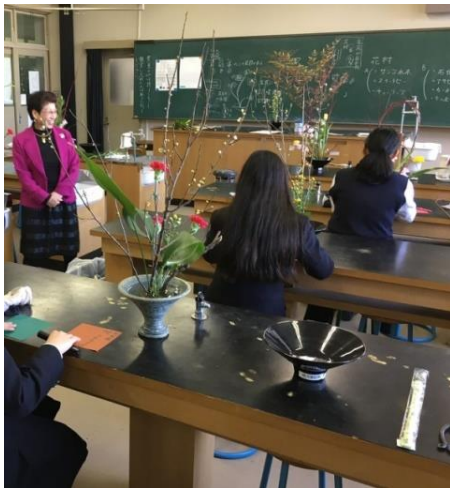
① 園芸に関して

例年同窓会からチューリップの球根1000個や多種の花の種をいただき、春と秋に花盛りになるよう中庭などに植えています。右の写真は東門芝生の光景。入学式後、新入生たちが親子で記念写真を撮っています。



② 生け花に関して

池坊の先生に年3～4回来ていただき、本格的な華道作品をつくり玄関や生物室横に展示しています。中庭の花を使った作品もしばしば展示。お金があまりかからないよう工夫しています。9月の文化祭では玄関ホールに生け花を多数展示して好評を博しています。10月末にはハロウィン風、1月には門松風のものも玄関に展示し、お客様を出迎えています。



③ 野外のフィールドワークに関して

4月・・枚方や交野で植物や野鳥の観察会

5月末・・ゲンジボタル観察会

7月・・旧田中家鋳物民俗資料館見学と樹木観察

8月はじめ・・一泊二日で山や海で合宿を行って

いた時もあるのですが、この2年間はコロナ禍で中止。今後も未定です。

8月下旬・・奈良の平城京跡でツバメのねぐら入り観察会。

南に渡る直前、ツバメは集団で大きな「ねぐら」を形成します。日没前の20分間で4万匹のツバメが空を覆い尽くし芦原に入る姿は圧巻でした。



12月・・ 枚方市の山田池で冬鳥と樹木の観察会

様々なカモ類以外に、タカやヌートリアなども見られました。鳥は30種ほど観察。



3月・・ 環境省の調査に参加し、ニホンアカガエルの卵塊数をカウント。

枚方市穂谷地区の里山は環境省が「モニタリングサイト1000」の1つとして野生生物の調査を続けています。ニホンアカガエルは森と池が連続している場所にしか暮らせないので、「貴重な自然が保たれているか」の指標となる生物です。天敵のヘビがまだ冬眠している寒い時期に池に産卵した後、森の落ち葉の下に戻り冬眠の続きをします。このソフトボール大の卵塊数の調査を手伝いました。



その他・・・ この3年間では以下のような事をやりました。

- ・ 鶴見緑地、くろんど園地、私市の植物園などで植物観察会
- ・ 放置された竹藪整備のボランティア参加
- ・ 奈良公園のシカの行動観察
- ・ 海岸生物観察会
- ・ 交野市の天野川でカワセミ観察会
- ・ 校内の木に樹木プレートを設置
- ・ 学校の中庭でお疲れ様大食事会